

ふくい街角景気速報

(令和3年9月分)

調査期間 令和3年9月10日～24日 (回答率: 90%)

概況

景気の現状判断DIは47.2となり、前月と比べ8.6ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは56.4となり、前月と比べ12.5ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 47.2 (前月比 +8.6)

○家計動向関連では、前月に比べ 7.8 ポイント上昇した。

○企業動向関連では、前月に比べ 8.8 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ 6.8 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○人の動きがまだまだ鈍い状況が続いている。飲食店も時短営業や休業状態が多く、夜間の人の出が薄い。(観光関係)

○8月、9月の観光の売上は昨年の40%減となり回復が遅れているが、通販、スーパーなどの量販店が売上増となり、昨年並みとなっている。(食料品製造関連)

■景気の先行き判断DI 56.4 (前月比 +12.5)

○家計動向関連では、前月に比べ 13.0 ポイント上昇した。

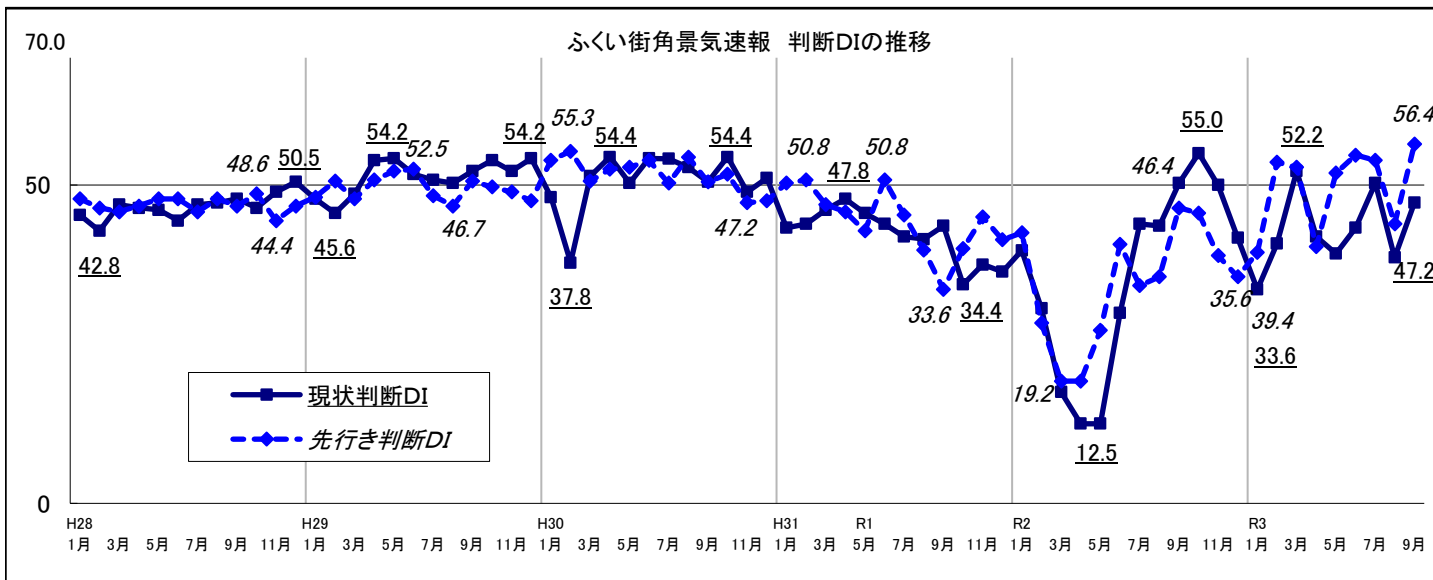
○企業動向関連では、前月に比べ 10.2 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ 15.9 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○GoToトラベルに期待しているが、県単位の施策や県を越えての移動、飲食店での規制緩和と、ワクチン接種が行き渡ってきたことへの安心感から、我慢していた旅行欲求が少し開放されると思う。(観光関係)

○今後、緊急事態宣言の解除やワクチン接種が進み個人消費が回復することで、全体的な景気回復を期待する。(銀行等金融関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R3 4	5	6	7	8	9	(前月差)
合計		41.9	39.2	43.3	50.3	38.6	47.2	+8.6
家計動向関連		37.0	34.0	39.8	46.1	31.4	39.2	+7.8
小売		40.8	33.6	37.5	43.1	31.5	40.5	+9.0
飲食		30.0	15.0	43.8	50.0	25.0	50.0	+25.0
サービス		29.5	45.0	45.0	52.1	33.3	33.3	+0.0
企業動向関連		46.2	41.4	42.9	50.7	46.9	55.7	+8.8
製造業		46.0	41.3	47.0	54.0	46.9	54.0	+7.1
非製造業		46.9	41.7	32.5	41.7	46.9	60.0	+13.1
雇用関連		50.0	54.5	59.1	65.9	45.5	52.3	+6.8

○回答別構成比

	年 月	R3 4	5	6	7	8	9	(前月差)
良くなっている		2.2%	1.1%	1.1%	3.3%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなっている		16.7%	13.3%	12.2%	20.0%	12.2%	20.0%	+7.8
変わらない		40.0%	42.2%	51.1%	53.3%	37.8%	52.2%	+14.4
やや悪くなっている		28.9%	27.8%	30.0%	21.1%	37.8%	20.0%	▲17.8
悪くなっている		12.2%	15.6%	5.6%	2.2%	11.1%	6.7%	▲4.4

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R3 4	5	6	7	8	9	(前月差)
合計		40.3	51.9	54.7	53.9	43.9	56.4	+12.5
家計動向関連		34.2	49.5	52.8	48.9	41.0	54.0	+13.0
小売		36.7	46.1	49.2	44.0	38.7	50.0	+11.3
飲食		40.0	45.0	62.5	62.5	43.8	58.3	+14.5
サービス		25.0	62.5	60.0	56.3	45.8	62.5	+16.7
企業動向関連		46.2	50.8	55.7	58.1	46.9	57.1	+10.2
製造業		49.0	51.1	57.0	58.0	46.9	57.0	+10.1
非製造業		37.5	50.0	52.5	58.3	46.9	57.5	+10.6
雇用関連		47.7	65.9	59.1	61.4	47.7	63.6	+15.9

○回答別構成比

	年 月	R3 4	5	6	7	8	9	(前月差)
良くなる		1.1%	6.7%	4.4%	5.6%	2.2%	2.2%	+0.0
やや良くなる		15.6%	22.2%	33.3%	28.9%	13.3%	44.4%	+31.1
変わらない		38.9%	48.9%	43.3%	44.4%	47.8%	36.7%	▲11.1
やや悪くなる		32.2%	16.7%	14.4%	17.8%	31.1%	10.0%	▲21.1
悪くなる		12.2%	5.6%	4.4%	3.3%	5.6%	6.7%	+1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業 動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による一時的な受注減少から、昨年2020年9月以降、完全に回復し、その後継続している。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	百貨店、SC等	県内の新規感染者数減少に加え、ワクチン接種者数も増加し、経済が活性化している。ふく割もかなり定着してきており、ユーザーが上手く買い物消費につなげている。
		奥越	飲食関連	2回目の接種を終えた人が多くなり、外出意欲が増してきた。
		嶺南	観光関係	県内の修学旅行等で、やや動きが出てきた。シルバーウィークの効果もあり、それなりの売上も見込めるようになっている。
	企業 動向	福井	眼鏡関連	景気回復策「ふく割」の影響か、コロナの影響で個人貯金が増加している影響か、来店者数や売り上げとも好調が続いている。
		奥越	電気機械関連	年内は受注増加傾向である。
		丹南	鉄鋼関連	需要が拡大傾向にあるため。
		福井	建設・不動産関連	秋の移動シーズンに入り、法人・個人ともに動きが出始めている。
	雇用	嶺南	労働相談員	福井県独自の緊急事態宣言も解除され、ワクチン接種も多くの市民が接種を済ませ、人流が戻りつつある。労働相談件数も3か月前と比べ半分ぐらいになっていることも判断材料になると思う。
③変わらない	家計 動向	坂井	一般小売店	緊急事態宣言だったので、人々の行動が変わっていないと思う。
		福井	百貨店、SC等	売上は若干改善傾向にはあるものの、景気が良くなっているようには感じない。
		坂井	スーパー	足元ではコロナ第5波も収まってはきているものの、消費者の行動は慎重で来店客数に大きな変動が出ていない。
		福井	飲食関連	緊急事態宣言以降、消費は変わらず。
		福井	観光関係	人の動きがまだまだ鈍い状況が続いている。飲食店も時短営業や休業状態が多く夜間の人の出が薄い。
	企業 動向	福井	化学・プラスチック関連	新型コロナ感染状況および半導体不足等による自動車生産停止の影響もあり、今一歩回復に力強さが欠ける状況が続いている。
		丹南	食料品製造関連	8月、9月の観光の売り上げは昨年の40%減となり回復が遅れているが、通販、スーパーなどの量販店が売上増となり、昨年並みとなっている。
		福井	銀行等金融関連	製造業は順調に受注が回復しているものの、一部の事業者からは資金繰りを心配し追加借入などの相談が増えている。また、県緊急事態宣言の延長や飲食店への時短要請により、サービス業への影響は依然大きい。
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	有効求人倍率は回復傾向であるものの、求人数に著しい変化はなく景気が回復しているとは判断しにくい。採用状況や企業説明会の様子からも人手不足がひっ迫している様子はなく、良い人材がいれば採用したいという印象。
	④やや悪くなっている	家計 動向	奥越	一般小売店
福井			スーパー	食品は売上上昇しているが、酒類など嗜好品が想定よりも売上減少している。
福井			コンビニエンスストア	月初から自粛基調が続き、後半ようやく自粛ムードがやわらいだ感じである。
坂井			観光関係	夏期のコロナ感染者の増加により、予約のキャンセルや行動自粛が続いている。
企業 動向		嶺南	食料品製造関連	観光地土産の製造をしているが、売上げ高が落ち込んでいる。
雇用		丹南	自治体労働政策担当課	製造業は堅調との意見が多いが、商業や飲食業は大変厳しい報告を受けている。先月から県独自の緊急事態宣言が発令され、飲食店の時短要請やイベント中止が相次ぐなど、3か月前の状況以上に厳しい。
⑤悪くなっている		家計 動向	坂井	観光関係
	福井		観光関係	時短営業の際は売上が昨年の4月5月の頃まで下がった。コロナの感染者数に毎日振り回されており、先が見えない。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	嶺南	観光関係	GoToトラベルに期待しているが、県単位の施策や県を越えての移動、飲食店での規制緩和と、ワクチン接種が行き渡ってきたことへの安心感から、我慢していた旅行欲求が少し解放されると思う。
②やや良くなる	家計動向	嶺南	商店街	ワクチン接種も進んでいるので期待をしている。県主導の「GoToショッピング」も始まるし、商店街は「歳末大売り出し」を考えている。
		坂井	一般小売店	コロナワクチン接種証明書提示によって、行動範囲が広まるようになってくるのではないかと。
		福井	百貨店、SC等	ワクチン接種によるコロナの不安が解消されれば消費が上向く可能性はある。
		坂井	スーパー	コロナの第5波も収まりつつあり、2~3か月後にはGoTo関連も再開し、消費が戻ってくると思われる。
		福井	家電販売店	年末商戦で多少回復すると思われる。
		奥越	飲食関連	陽性者の減少が見られるため。
		坂井	観光関係	コロナウイルス感染状況が好転してきつつあるので、ふくいdeお得キャンペーンが再開されれば、県内客から徐々に利用が増えることが期待される。
	企業動向	福井	一般機械関連	来年3月末までは、現在の受注高が見込まれるので、企業の設備投資は堅調に進んでいると考える。
		嶺南	化学・プラスチック関連	新商品の販売が見込めるため。
		嶺南	商社	ワクチン接種率の向上、県外移動の拡大に期待。
		福井	銀行等金融関連	北陸新幹線敦賀延伸を見据えた設備投資の相談なども増えてきており、機運が高まってきている。今後、緊急事態宣言の解除やワクチン接種が進み個人消費が回復することで、全体的な景気回復を期待する。
雇用	丹南	自治体労働政策担当課	ワクチン接種も順調に進み、国も今後、接種証明書を国内の商業施設でも積極的に活用する旨の報道がなされていることから、経済活動が好転していくのではないかと期待する。	
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	短いスパンで景気が大きく変動するとは考えにくい。
	企業動向	福井	繊維関連	人の流れが動き出しても、景気に反映されるのは時間がかかると思う。
		奥越	電気機械関連	コロナウイルスが落ち着いてきていることで経済が回ってくるのではないかとと思われるが、半導体不足が懸念される。
		福井	化学・プラスチック関連	コロナ感染や半導体不足が短期的に解消することは難しいと考えられ、今しばらく本格的な回復には至らないと思われる。
	雇用	嶺南	ジョブカフェ担当者	観光産業への依存度の高い嶺南地域としては来県者の増加も期待したいが、宿泊を伴うイベントなど大きな観光需要の見通しが立っていない。
		嶺南	就職情報誌	コロナ感染次第であり、ワクチン接種率を高めていくことが景気回復にも繋がっていくと思う。
④やや悪くなる	家計動向	奥越	一般小売店	外出制限が解除されるまでは良くなっていかないと思う。一部にて、輸入に頼っている商品や海外で生産されている物が滞ってきていて品薄状態にある。
		福井	スーパー	10月からの各種値上げやコロナ禍の終息が見通せないため。
	企業動向	丹南	食料品製造関連	観光売上の回復が遅れているため。
		福井	建設・不動産関連	一部材料の不足による停滞感。コロナ感染症の根強い影響。
⑤悪くなる	家計動向	福井	一般小売店	ワクチン接種の進捗によってどこまで、コロナ禍の影響が終息するか、まだ影響が長引きそうな観測あり。住関連産業としての「ウッドショック」の影響も懸念がある。消費マインドの回復は見通せない状況にある。
		奥越	百貨店、SC等	市内にドラッグストアが3店新規出店するため、顧客が流れてしまうと思う。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)